

お題①行きやすい、歩きやすい広場って？
 お題②そのために必要な機能は？
 お題③まちや駿府城公園周辺エリアとつながるには？

5つのグループに分かれて意見を出していただいたものをまとめ、お題ごとに分類・整理して記載しています。

	創造活動・イベント	日常的な利用	その他	
お題①	○イベント ・いつも何か関心を惹く催しなどがあると来なくなる ・広場にスクリーン立ててコンサート映像(中継)をみながら飲食 ・駐車場でモーターフェアなどのイベント ・イベント広場にテントや屋根があるとよい(雨天でもイベントしたい) ・フリーマーケット ・青空シアター	○健康 ・軽運動やトレーニングができる ○遊び場 ・孫と一緒にボール遊びやひなたぼっこができる ・アスレチック(子ども向け) ・犬OKな芝生スペース(ドッグラン) ・休日に子どもを連れていける ○飲食 ・おいしいお店、マルシェ ・カフェ 大学生が来やすいもの(アクセス含む)	○若者の居場所 ・ダンス、スケートボードにも使える場所 ○休憩・待機 ・本が読める、勉強できる(雨の日も) ・ひかげのある場所 ・座って過ごせる ・ロビーを居心地よくしてほしい(集まりやすく) ・憩いの場 ・開演前の待機スペース	○バリアフリー ・段差が多すぎるのでフラットにする ・遊歩道から続いて入れる段差や階段がないフラットなつくり ○安全 ・見渡しが良い ・防犯カメラ ○駐輪場・駐車場 ・木が生い茂っていて暗いので明るくする ・駐車場無料
	○練習 ・屋外練習場(ダンスなど) ・おどれるガラス面		○自然 ・ピオトープ	○仕様 ・完全にバリアフリーにしすぎない ・ちょっとした冒険、探検の要素ある広場
	○イベント ・音響設備コンセント類 ・大道芸ができる3つくらいのスペース ・車の展示会など商業イベントができるスペース(修景広場がいいかも) ・気軽に使える屋根付き野外ステージ(客席なし等) ・給・排水設備	○健康 ・敷地内にランニングコース ・健康器具 ○遊び場 ・アスレチック(子供の遊び場、シンボル)→待ち合わせ場所に ・走り回れる芝生広場 ・ドッグラン ○飲食 ・おしゃれなカフェ(スタバなど) ・コンビニ	○休憩 ・段差を活かして休む ・屋根のあるスペース ・オブジェの高さをあげて日陰を作る ○防災 ・防災機能のあるベンチ ○その他 ・色々な人の居場所の区分け ・施設内に児童に関する機能 →日常的に親子が集える広場	○安全・照明 ・バリアフリー ・すべらない、歩きやすい場所 ・埋め込み式のライト(グラウンドライト) ・明るくする、死角なく見通しが良い ○目印・オブジェ ・待ち合わせ場所 ・オブジェにお金かけるより ホールなどにお金を使う
	○練習・活動 ・ガラス張り姿を映せる ・課題をする、芸術活動をする			○アプローチ ・わかりやすい北街道からのアプローチ ○仕様 ・高低差を活かしちょっと隠す、丘の向こうが気になるつくり
	○イベント ・定期的にイベント、フェスをやっている ・オープンスペースでアートやパフォーマンス ・情報が手に入る	○運動 ・走る、ランニング用のスペースをつくる(走りやすい床材や距離の表示を整備) ・歴史解説パネルを設け、ウォーキングや散歩のコースにする	○居場所 ・放課後に勉強できる(おしゃべり、飲食OK) ○交流 ・芸術を通して市民が繋がる広場	○周辺エリアとの連携 ・北街道のシャッター店舗の家賃を補助し、若い人のチャレンジ、創造活動の場とする ・会館での観劇(半券)、活動により商店街でサービスが受けられる
	○周辺エリアとの連携 ・ARスタンプラリー(まち全体で) ・駿府城でバジリスクのリアル脱出ゲーム ・会館までの道を歩行者天国でお祭り	○飲食 ・マルシェなど ・キッチンカー ・オープンスペースにカフェテリア的なエリア設ける		○アクセス ・水落交番側にアーチ型の橋をかける ・駅とのシャトルバス
	○練習 ・練習している姿が見られる →学生とのつながり			○景観 ・木や花の季節の植物で周辺エリアとつなげる ○防災 ・防災の拠点として災害時に集まれるところにする

第2回ワークショップ「創造的改修について考える② 歩きたくなる広場って？」 こんな広場に行ってみたい！ 過ごしたい！



令和2年11月26日(木)、第2回「静岡市市民文化会館のミライを描く市民ワークショップ」が開催されました。参加者は、総勢19名！

第2回のテーマは、「創造的改修について考える② 歩きたくなる広場って？」。今回も前回と同様、「ワールドカフェ形式」で行われました。現在検討中の広場の改修内容、ワークショップの流れ、お約束の説明があり、グループワークがスタート！

今回のグループワークは、お題①「行きやすい、歩きやすい広場って？」、お題②「そのために必要な機能は？」、お題③「まちや駿府城公園周辺エリアとつながるには？」の3つのお題を設定し、3ラウンドで行われました。第1、第3ラウンドは年代の近い参加者の方々が構成されたグループ、第2ラウンドはメンバーをシャッフルしたグループで意見交換をしていただきました。

グループワークが始まると、各グループではファシリテーター、リーダーの方を中心に模造紙に皆さんのアイデアが書き込まれました！

お題①では、運動スペースやカフェ、ベンチなどを設けて憩いの場や遊び場にするなど日常的な利用に関するご意見を多くいただきました。また、段差のない広場が使いやすいというご意見があった一方で、あえて段差や高低差をつけることで冒険・探検できるようにしたいというご意見もありました。

お題②では、健康器具や遊具など全世代に開かれた広場としての機能が挙げられたほか、屋根付きのイベントスペースやダンスの練習場所など屋外でも文化活動が行えることが重要というご意見も多くいただきました。

お題③では、周辺の商店街や町内と連携したスタンプラリーやフリーマーケットの実施、周辺エリアから市民文化会館へのアクセス向上など周辺エリアとつながるためのアイデアをたくさんいただきました。

新しい市民文化会館が周辺のエリアも含めて、賑わいのある施設となることを目指し、今後のワークショップでのご意見も楽しみにしております！

第3回のテーマは「新たな市民文化会館にどんな風に関わっていく？」。観客・演者・ロビーや広場の利用者運営スタッフなど、様々な関わり方が考えられます。改修後の市民文化会館がさらに楽しく、豊かな時間を過ごせる場所となるために、皆さんがやりたいことを考えましょう！

なんでもアンケートでのご意見(一部抜粋)

前回参加出来なかったのですが、どんな感じなのかとドキドキしていましたがとても話しやすい会でした。様々な視点からの意見をきく事ができ、大変有意義な時間でした。

楽しかったです。文化会館の内側だけではなく、周辺エリアを考えることができたのが、何よりも楽しかったです。

今日も話しやすい雰囲気良かったです。少しずつ改修されるのが楽しみになってきました。

様々な意見の方々と話すことができ勉強になりました。私のグループとは全く違う意見もあり、まとめるのが楽しかったです。

発行：静岡市観光交流文化局
 文化振興課

第2号
 2020年(令和2年)
 12月7日
 発行

編集：シタターワークショップ

静岡市市民文化会館のミライを描く
 市民ワークショップかわら版

いろいろ!!